

創世会
山本裕三



山本議員の一般質問
はこちらから



市民の草刈りのニーズに対する対応策を

Q 全29回の地区集会で草刈りの要望は11地区と最多であったとのことだが、今後の草刈りのニーズに対する対応策を伺う。



河川に茂る草木

A 草刈りなどの愛護活動に参加する方の高齢化や、参加者の減少により、活動が困難になってきているとのお話があり、喫緊の課題であると認識しています。今年度は、本市で雇用する草刈作業員を増員し、危険箇所は、建設業者などに委託するなどの対応をしてみました。今後は、自走式草刈機の導入などにより、地域の草刈りの負担が少しでも軽減できるような方策を進めていきます。

市民の負担軽減のために

Q 超少子高齢化や、定年延長、共働き世代の増加で草刈りの担い手は減少している。担い手の負担軽減のために地域協働環境整備事業費(地区要望)を手押し式の草刈り機などの購入補助に充てることできないか伺う。

関係機関と協力し有効策を考 えていく

A 地域協働環境整備事業は、基本的に本市の管理する道路や河川などの改良や修繕を目的とした事業であり、交通事故や災害へ対応するための工事の実施や材料を支給するための予算を確保するものであります。しかし、草刈りの問題は、本市の中でも大きな課題の一つであるため、関係機関と協力して有効策を考え、地域の負担軽減に向けて取り組んでいきます。

新しい風
松浦昌巳



松浦議員の一般質問
はこちらから



テレビのデータ放送の活用を

Q 市民が主役の掛川市となるために、市民活動や市の情報などをテレビのデータ放送を活用して配信することで、「手のひら市役所」と合わせて「お茶の間市役所」となり、より身近な掛川市となると思うが、見解を伺う。



令和5年1月実施に向け準備を進めている

A テレビのデータ放送活用は、市民が自分の生活にあった情報取得手段を選べるという点でとても良いことと考えています。データ放送活用については、年度当初から検討しており、令和5年1月実施に向けてテストをしているところです。本格実施の際には、広報紙やSNSなどで市民に周知し、活用していただくことを考えています。

また、掲載情報についても併せて検討しているところです。

二酸化炭素削減のため公共交通の利用推進を

Q 温暖化対策や二酸化炭素削減の観点から、乗用車の使用を減らすために、公共交通機関の利用を推進するべきと考えますが、所見を伺う。

公共交通の利用推進を図る

A 自家用車から公共交通への転換を図ることは、CO2排出量削減に有効な手段の一つであるため、公共交通の利用を推進するべきと考えています。本市は、自家用車の依存度が非常に高く、公共交通への転換は厳しい状況ではありますが、公共交通の利用促進を図り、CO2の排出量削減に向け取り組んでいきます。

【その他の質問事項】

・移住定住策について